

## 引用文献

### (一) 史料 (五十音順)

#### I. 一般史料

1. 日本史籍協会編、『会津藩庁記録』1-6、東京大学出版会 1969
2. 鹿児島県歴史資料センター黎明館編、『鹿児島県史料 玉里島津家史料』2、鹿児島県 1993
3. 玉虫左大夫、「官武通記」、『確定幕末史資料大成』、国書刊行会 1913
4. 京都町触研究会編、『京都町触集成』12、岩波書店 1987
5. 黒板勝美、国史大系編修会編、『公卿補任』第五編、吉川弘文館 1967
6. 宮内省先帝御事蹟取調掛編、『孝明天皇紀』1-5、平安神宮 1980
7. 『雑事日記』、陽明文庫蔵
8. 日本史籍協会編、『鈴木大雑集』3、東京大学出版会 1972
9. 日本史籍協会編、『続再夢紀事』1-2、東京大学出版会 1974
10. 北里蘭、『高崎正風先生伝記』、啓文社印刷工業 1959
11. 『武市瑞山関係文書』1-2、日本史籍協会叢書、東京大学出版会 1916
12. 『伊達宗城在京日記』、日本史籍協会叢書、東京大学出版会 1916
13. 八隅蘆庵、今井金吾解説・註、『旅行用心集』、八坂書房刊 1972。
14. 細川家編纂所編、改訂『肥後藩国事史料』3、国書刊行会 1932
15. 松平春嶽全集編纂刊行会編、『松平春嶽全集』1-3、原書房 1973

#### II. 史書・伝記ほか (五十音順)

1. 飯沼関弥、『会津松平家譜』、1938
2. 下橋長敬述、松本信広編、『維新前の宮廷生活』、三田史学会発行 1922
3. 木戸公伝記編纂所編、『木戸孝允公伝』、明治書院 1927
4. 山川浩、『京都守護職始末』1-2、東洋文庫、平凡社 1965
5. 北原雅長、『七年史』上・下、復刻版、マツノ書店 2006
6. 馬場文英編、『七卿西竄始末』(『三条実美公記』) 1-6、東京大学出版会 1972
7. 鳥取県立博物館編、『贈従一位池田慶徳公御伝記』2、鳥取県立博物館 1987

## (二) 単行本 (年代順)

1. 藤田覚、『幕末の天皇』、講談社選書 1994
2. 家近良樹、『幕末政治と倒幕運動』、吉川弘文館 1998
3. 家近良樹、『孝明天皇と〈一会桑〉：幕末. 維新の新視点』、文藝春秋 (文春新書)、2002
4. 佐々木克、『幕末の天皇・明治の天皇』、講談社 2005
5. 高埜利彦編、『朝廷をとりまく人々』、吉川弘文館 2007
6. 原口清、『幕末中央政局の動向』(原口清著作集 1)、岩田書院 2007
7. 家近良樹、『幕末の朝廷』、中央公論新社(中公叢書)2007

## (三) 雑誌論文 (年代順)

1. 家近良樹、「幕末最終段階における御所諸門の警備問題について——京都守護職の動向を中心に」、『大阪経大論集』44(3) [1993.09]、大阪経大学会、p178～139
2. 芳即正、「文久3年八月十八日の政変と島津久光」『明治維新史学会報』(39) [2001.10.1]、明治維新史学会、p1～14
3. 佐々木克、「文久3年8月政変と薩摩藩」、『人文学報』(87) [2002]、京都大学人文科学研究所、p1～55
4. 町田明広、「文久三年中央政局における薩摩藩の動向について——8月18日政変を中心に」、『日本史研究』(通号 539) [2007.7]、日本史研究会、p27～51

## 参考文献

### (一) 史料 (五十音順)

#### I. 一般史料

1. 会津郷土資料研究所編、『会津藩士人名録』、勉強堂書店 1992
2. 国書刊行会編、「会津藩文書」、『史籍雑纂』4、国書刊行会 1911～1912
3. 日本史籍協会編、『安達清風日記』、東京大学出版会 1925～28
4. 『安文間記』、会津若松市立図書館蔵
5. 秋月悌次郎、『韋軒遺稿』、会津若松市図書館蔵

6. 日本史籍協会編、『一条忠香日記抄』、東京大学出版会 1915
7. 『雲上明覧大全』文久三年版、宮内庁書陵部蔵
8. 『江戸・明治京都の天気表：二条家内々御番所日次記』、慶應義塾大学三田メディアセンター慶應義塾図書、1998
9. 日本史籍協会編、『岡山池田家文書』1-2、叢書、東京大学出版会 1920
10. 日本史籍協会編、『押小路甫子日記』1-3、東京大学出版会 1917
11. 日置謙編、『加賀藩資料 藩末編』第17編、清文堂出版 1980
12. 『議奏記録』、宮内庁書陵部蔵
13. 『議奏言渡抄』、宮内庁書陵部蔵
14. 『議奏帳』、宮内庁書陵部蔵
15. 『議奏備忘書類抄』、宮内庁書陵部蔵
16. 木戸孝允関係文書研究会編、『木戸孝允関係文書』1、東京大学出版会 2005
17. 日本史籍協会編、『木戸孝允文書』1-8、東京大学出版会 1929-31
18. 『公純公記』、宮内庁書陵部蔵
19. 『久邇宮文書』、宮内庁書陵部蔵
20. 『久邇宮国事文書写』、宮内庁書陵部蔵
21. 鶴久二郎・古賀幸雄編、『久留米藩幕末維新史料集』、国会図書館 1967
22. 日本史籍協会編、『五卿滞在記録』、東京大学出版会 1927
23. 家近良樹編、『稽徴録—京都守護職時代の会津藩史料』、思文閣出版 1999
24. 横田達雄編註、「遣巻録-愚菴筆記」、『樋口眞吉日記』、県立青山文庫後援会 2006
25. 『頭徴録』、会津若松市立図書館蔵
26. 高田茂広校註、『見聞略記：幕末筑前浦商人の記録』、海鳥社 1989
27. 『孝明天皇宸記』、宮内庁書陵部蔵
28. 『孝明天皇宸翰写』、宮内庁書陵部蔵
29. 『御評議箇条』、宮内庁書陵部蔵
30. 三浦夫純、『御在京以来格別御用向留記』、会津若松市立図書館蔵
31. 日本史籍協会編、『近衛家書類』1-2、東京大学出版会 1919
32. 『近衛忠熙家記』(近衛忠熙内覧日記)、宮内庁書陵部蔵
33. 日本史籍協会編、『採襍録』1-2、東京大学出版会 1970
34. 日本史籍協会編、『嗟峨実愛日記』1-2、東京大学出版会 1929-31
35. 『定功卿記』、宮内庁書陵部蔵
36. 日本史籍協会編、『三条家文書』、東京大学出版会 1916
37. 橋本博編、「三条西季知日記」『維新日誌』3、静岡郷土研究会 1932
38. 東京大学史料編纂所、『市中取締続類集』、東京大学出版会 1969
39. 日本史籍協会編、『島津家書翰集』、東京大学出版会 1972

40. 東京大学史料所編纂、『島津家文書』、東京大學出版會 1982
41. 日本史籍協会編、『史料墨宝』、東京大學出版會 1968
42. 杉浦梅潭日記刊行会、『杉浦梅潭目付日記』、みずうみ書房 1991
43. 日本史籍協会叢書編、『巢内信善遺稿』(勤王家巢内式部伝)、東京大学出版会 1922
44. 小池藤五郎編、『政治総裁職松平春嶽幕末覚書』、人物往来社 1968
45. 日本史籍協会編、『尊攘堂書類雜記』、東京大学出版会 1919
46. 『忠熙公記』、陽明文庫蔵
47. 『忠房公記(近衛忠房日記)』、陽明文庫蔵
48. 河内和夫編、『玉里島津家文書』上・下、南方新社 2006
49. 『珍説世上噺』、会津若松市立図書館蔵
50. 横田達雄編、『寺村左膳道成日記』2、県立青山文庫後援会 1979
51. 『徳大寺実則日記』、宮内庁書陵部蔵
52. 『鳥取池田家文書』3、日本史籍協会叢書、東京大学出版会 1968
53. 『長橋局日記』、宮内庁書陵部蔵
54. 『中山忠能日記』1、日本史籍協会叢書、東京大学出版会 1973
55. 内田九州男・島野三千穂編、『幕末維新京都町人日記』(高木在中日記)、清文堂出版 1989
56. 『二条家日記』、宮内庁書陵部蔵
57. 『野宮定功御世話帳』、宮内庁書陵部蔵
58. 『野宮定功公武御用日記』3、宮内庁書陵部蔵
59. 会津若松市総務部秘書広聴課編、『幕末会津藩往復文書』上・下(会津若松市史史料編 II)、会津若松市 2000
60. 東久世通禧[他]、『幕末維新史料叢書』3、新人物往来社 1969
61. 霞会華族資料調査委員会編纂、『東久世通禧日記』、霞会館 1992
62. 『非蔵人日記抄』、宮内庁書陵部蔵
63. 『非蔵人番所日記』、宮内庁書陵部蔵
64. 日本史籍協会編、『広沢真臣日記』、東京大学出版会 1973
65. 『文久武鑑』、宮内庁書陵部蔵
66. 『坊城俊克記(坊城俊克卿雜記草)』、宮内庁書陵部蔵
67. 真木保臣先生顕彰会編、『真木和泉守遺文』、伯爵有馬家修史所 1914
68. 日本史籍協会編、『万里小路日記』、東京大学出版会 1974
69. 『光愛卿記(柳原光愛雜記)』、宮内庁書陵部蔵
70. 大口勇次郎編監修、『水野忠精幕末老中日記』6、ゆまに書房 1999
71. 『野史台維新史料叢書』23、33、日本史籍協会叢書別編 23、東京大学出版会 1972
72. 山内家史料刊行委員会編、『山内家史料 幕末維新』第3編(第十六代

豊範公紀)、山内神社宝物資料館 1983

## II. 史書・伝記ほか

1. 向井吉重撰、『会津旧事雑考』1-3、会津資料保存會 1918
2. 会津若松市史編纂会編、『会津若松市史』1~13、会津若松市 1966
3. 会津若松市史編纂会編、『会津若松市史』歴史編 7、会津若松市 1991
4. 秋月一江、『秋月悌次郎伝』、秋月一江 1998
5. 『朝彦親王行実』、宮内庁書陵部蔵
6. 本多辰次郎、『維新史』、早稲田大学出版部 1915
7. 維新史料編纂會、『維新史料綱要』1-10、1956~57
8. 『維新史料編纂会講演速記録』、続日本史籍協会叢書 1977
9. 旧事諮問会編、進士慶幹校注、『旧事諮問録：江戸幕府役人の証言』、岩波書店 1986
10. 徳富蘇峰、『近世日本国民史』34-61、明治天皇御宇史 1918
11. 岩崎宰編、『島津久光公実紀』1-8、1910
12. 松平春嶽・北原雅長、『逸事史補・守護職小史』(幕末維新史料叢書 4)、人物往来社 1968
13. 渋沢栄一、『徳川慶喜公伝』1-4、平凡社(東洋文庫)1967
14. 瑞山会編、『土佐勤王史』、日本図書センター1977
15. 福地源一郎、『幕府衰亡論』、平凡社(東洋文庫)1978
16. 小桧山六郎・間島勲、『幕末会津藩士銘々伝』上・下、新人物往来社 2004
17. 末松謙澄、『防長回天史』3-6、1921
18. 相田泰三、『松平容保公伝』、会津郷土資料研究所 1992
19. 水戸市史編纂委員会編、『水戸市史』中巻 5、水戸市 1990

## (二) 単行本 (年代順)

### I. 幕末史

1. 田中彰、『幕末の藩政改革』、塙書房 1965
2. 横田新、『会津の殿様』、ふくしま文庫 1974
3. 三上一夫、『公武合体論の研究』、御茶の水書房 1979
4. 星亮一、『松平容保とその時代』、歴史春秋社 1984
5. 大久保利謙、『佐幕派論議』、吉川弘文館 1986
6. 藤田覚、『幕藩制国家の政治史的研究』、校倉書房 1987
7. 松本健一、『秋月悌次郎一老日本の面影』、作品社 1987

8. 秋月悌次郎詩碑建立委員会編、『秋月悌次郎詩碑建立記念誌』、秋月悌次郎詩碑建立委員会 1990
9. 井上勲、『王政復古一慶應三年十二月九日の政変』、中公新書 1991
10. 菅野恒雄、『会津藩に仕えた内藤一族』、菅野恒雄 1992
11. 明治維新史学会編、『幕藩権力と明治維新』、吉川弘文館 1992
12. 小野正雄、『幕藩権力解体過程の研究』、校倉書房 1993
13. 堀田節夫、『幕末の会津藩家老 西郷頼母』、歴史春秋社 1993
14. 田中彰、『幕末維新史の研究』、吉川弘文館 1996
15. 井上光貞ら編、『日本歴史大系』12 (開国と幕末政治)、山川出版社 1996
16. 松本健一、『犢を逐いて青山に入る』、ベネッセコーポレーション 1997
17. 永岡慶之助、『会津藩始末記』、中央公論社(中公文庫)1998
18. 佐々木克、『それぞれの明治維新』、吉川弘文館 2000
19. 三宅紹宣編、『幕末の変動と諸藩』、吉川弘文館 2001
20. 星亮一、『幕末の会津藩』、中公新書 2001
21. 井上勝生、『開国と幕末変革』、講談社 2002
22. 芳即正、『島津久光と明治維新』、新人物往来社 2002
23. 家近良樹、『徳川慶喜』(幕末維新の個性1)、吉川弘文館 2004
24. 佐々木克、『幕末政治と薩摩藩』、吉川弘文館 2004
25. 家近良樹編、『もうひとつの明治維新』(大阪経済大学日本経済史研究所研究叢書 16)、有志舎 2006

## II. ゲーム理論

1. 謝淑貞著、『賽局理論』、三民書局 1995
2. 劉嶽雲著、蔡文輝主編、『政治理論與方法論』、五南出版 2001

### (三) 雑誌論文 (年代順)

1. 毛利敏彦、「藩政改革から公武合体へ—明治維新政治史(薩摩藩)の一考察」、『政治研究』(通号 10・11) [1963.03]、九州大学政治研究会、p88～107
2. 河北展生、「文久三年の越前藩の藩内紛争について」、『史学』36(2・3) [1963.09]、三田史学会、p229～240
3. 亀掛川博正、「幕末幕府陸軍の動向—文久三年小笠原閣老率兵上京事件を中心として」、『軍事史学』7(3) [1971.12.00]、錦正社、軍事史学会、p2～11、
4. 井上勲「幕末・維新时期における「公議輿論」概念の諸相—近代日本

- における公権力形成の前史としての試論』、『思想』(通号 609) [1975.03]、岩波書店、p354～367
5. 庄司吉之助、「幕末の会津藩財政」、『歴史評論』(通号 353) [1979.09]、校倉書房、歴史科学協議会、p79～88
  6. 河北展生、「松平春岳京都守護職の任免」、『史学』56(3) [1986.11]、三田史学会、p263～276
  7. 菊地久、「幕末政局試論——公武合体運動を中心に」、『法学研究』33(3) [1998.03]、北海学園大学法学会、p605～623
  8. 笹部昌利、「攘夷と自己正当化——文久期鳥取藩の政治運動を素材に」、『歴史評論』(通号 589) [1999.05]、校倉書房、p68～84
  9. 新田美香、「京都守護職に対する幕府の財政援助」、『お茶の水史学』(通号 45) [2001.10]、読史会、p53～73
  10. 白石烈、「公武合体」をめぐる会津藩の政治活動』、『史学研究』(235) [2002.1]、広島史学研究会、p53～72
  11. 村上由佳、「幕末期における会津藩の行動理念の形成過程」、『日本史の方法』([1]) [2005.03]、日本史の方法研究会、p61～79
  12. 友田昌宏、「幕末政治史研究の現状と課題」(特集/2007年度歴史学の焦点)、『歴史評論』(691) [2007.11]、校倉書房、p14～25

#### (四) 辞書・辞典(五十音順)

1. 野口信一編、『会津人物文献目録』1-2、歴史春秋出版社 1992
2. 永原慶二監修、石上英一ら編、『岩波日本史辞典』、岩波書店 1999
3. 熊井保編、『江戸幕臣人名事典』、新人物往来社 1997
4. 村井康彦編、『京都事典』、東京堂出版 1993
5. 国史大辞典編集委員会編、『国史大辞典』1-12、吉川弘文館 1979～1991
6. 東京大学史料編纂所、『読史備要』、講談社 1964
7. 児玉幸多ら編、『日本史総覧』I-IV・補巻、新人物往来社 1972～1973
8. 日本歴史学会編、『明治維新人名辞典』、吉川弘文館 1981